

# 東京海洋大学大学院履修規則

平成16年 4月 1日

		海洋大規第	194号
改正	平成16年10月 1日	海洋大規第	235号
改正	平成17年10月 1日	海洋大規第	235-2号
改正	平成18年 1月15日	海洋大規第	235-3号
改正	平成18年 2月16日	海洋大規第	235-4号
改正	平成18年 4月20日	海洋大規第	235-5号
改正	平成18年 4月20日	海洋大規第	235-6号
改正	平成18年 7月13日	海洋大規第	235-7号
改正	平成18年10月19日	海洋大規第	235-8号
改正	平成18年10月19日	海洋大規第	235-9号
改正	平成19年 1月18日	海洋大規第	235-10号
改正	平成19年 2月15日	海洋大規第	235-11号
改正	平成19年 6月21日	海洋大規第	235-12号
改正	平成20年 2月21日	海洋大規第	235-13号
改正	平成20年 9月10日	海洋大規第	235-14号
改正	平成20年 9月26日	海洋大規第	235-15号
改正	平成21年 3月27日	海洋大規第	24号
改正	平成21年 9月 9日	海洋大規第	92号
改正	平成22年 3月18日	海洋大規第	28号
改正	平成22年 9月 8日	海洋大規第	70号
改正	平成23年 3月 9日	海洋大規第	15号
改正	平成24年 3月 7日	海洋大規第	36号
改正	平成24年 7月 9日	海洋大規第	121号
改正	平成25年 2月21日	海洋大規第	14号
改正	平成25年 9月 9日	海洋大規第	46号
改正	平成25年10月24日	海洋大規第	58号
改正	平成26年 2月20日	海洋大規第	4号
改正	平成27年 3月10日	海洋大規第	47号
改正	平成27年 9月 7日	海洋大規第	98号
改正	平成30年 9月10日	海洋大規第	78号
改正	平成30年 9月10日	海洋大規第	79号
改正	平成30年 9月10日	海洋大規第	80号
改正	平成30年 9月10日	海洋大規第	81号
改正	平成30年 9月10日	海洋大規第	82号
改正	平成31年 2月21日	海洋大規第	65号
改正	平成31年 4月25日	海洋大規第	96号
改正	令和 2年 2月20日	海洋大規第	48号
改正	令和 3年 3月 8日	海洋大規第	68号
改正	令和 3年 3月15日	海洋大規第	71号
改正	令和 3年12月16日	海洋大規第	155号
改正	令和 4年 2月 9日	海洋大規第	3号

(趣旨)

第1条 この規則は、東京海洋大学大学院学則（以下「学則」という。）第23条の規定に基づき、東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科（以下「研究科」という。）における履修方法その他必要な事項を定めるものとする。

(教育課程等)

- 第2条 研究科における教育は、講義、演習、実験及び実習による授業（以下「講義等」という。）並びに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行うものとする。
- 2 研究科の各専攻における授業科目及び単位数は、別表第1（博士前期課程）及び別表第2（博士後期課程）のとおりとする。
  - 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。
    - 一 講義は、15時間の授業をもって1単位とする。
    - 二 演習は、30時間の授業をもって1単位とする。
    - 三 実験は、45時間の授業をもって1単位とする。
  - 4 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、この限りでない。

(外国人留学生に対する教育方法の特例)

第3条 研究科に、教育研究上必要があると認める場合には、英語で講義等及び研究指導を行う特別コース（国際海洋科学技術実践専門コース）を置く。

(指導教員)

- 第4条 学則第22条に定める指導教員は、学生1人について博士前期課程にあつては主指導教員1人及び副指導教員1人以上、博士後期課程にあつては主指導教員1人及び副指導教員2人以上で構成する。
- 2 主指導教員には研究指導を担当する教員を、副指導教員には研究指導又は講義を担当する教員を充てるものとする。
  - 3 学生は、指導を受けようとする教員の許可を得て、主指導教員及び副指導教員承諾願を研究科長に提出しなければならない。
  - 4 研究科長は、前項の願い出があつたときは、教授会の議を経て、主指導教員及び副指導教員を定めるものとする。
  - 5 前2項の規定は、主指導教員及び副指導教員を変更する場合に準用する。

(履修方法)

- 第5条 学生は、所属する専攻の授業科目について、別表第3（食品流通安全管理専攻を除く博士前期課程）、別表第4（食品流通安全管理専攻）又は別表第5（博士後期課程）のとおり履修しなければならない。
- 2 主指導教員が教育上有益と認めるときは、所属する専攻以外の専攻（以下「他専攻」という。）、研究科共通科目及び東京海洋大学大学院における他の大学院における授業科目の履修に関する取扱要項（平成24年7月9日海洋大規第122号）の規定に基づく他の大学院（以下「他大学院」という。）の授業科目を履修することができる。
  - 3 前項の規定により修得した単位については、博士前期課程にあつては15単位、博士後期課程にあつては2単位を超えない範囲で修了に必要な単位数に算入することができる。

(博士前期課程における副専攻志望制度)

第5条の2 博士前期課程の学生は、学際的・領域横断的分野や近接分野の幅広い知識と教養を身につけることを目的として、所属する専攻以外の一つの専攻を副専攻とすることができる。

第5条の3 博士前期課程の学生は、主指導教員が教育研究上有益であり修学に支障がないと認め、かつ志望する副専攻の専攻主任及び副専攻の授業科目の担当教員が履修可能と認めた場合に限り、他専攻の授業科目を、副専攻の授業科目として履修することができる。

2 副専攻を志望する博士前期課程の学生は、「博士前期課程副専攻履修許可願」に主指導教員、志望する副専攻の専攻主任及び副専攻の授業科目の担当教員の承認を得て、4月入学者にあつては入学時の4月20日までに、10月入学者にあつては入学時の10月20日までに研究科長に願い出なければならない。なお、願い出た後に志望する副専攻を変更することはできない。

3 副専攻の許可は、研究科教授会の議を経て、学長が決定する。

4 副専攻を志望する博士前期課程の学生が、履修を許可された副専攻の授業科目8単位以上を修得して所属する専攻を修了した場合、学長は、副専攻の修了を認定するものとする。

5 副専攻を志望する博士前期課程の学生が、副専攻の授業科目を履修したことにより修得した単位は、所属する専攻の修了に必要な単位数に算入する。

(特別研究指導計画書及び特別研究計画書)

第6条 主指導教員は、研究指導を開始するに当たり、あらかじめ研究指導の方法及び内容並びに年間の計画等を記載した『特別研究指導計画書』を学生に提示するものとする。

2 学生は、前項の『特別研究指導計画書』を踏まえ、自らが行う研究の内容等を主指導教員の合意を得て取りまとめ『特別研究計画書』を作成し、主指導教員に提出する。

3 主指導教員は、前2項の『特別研究指導計画書』及び『特別研究計画書』を研究科長に届け出なければならない。

4 主指導教員は、特別の理由により『特別研究計画書』又は『特別研究指導計画書』を変更した場合は、速やかに研究科長に提出するものとする。

(履修科目の届出)

第7条 学生は、履修計画に従って、その年度に履修しようとする授業科目を定め、当該授業科目担当教員の了承を得て、研究科長に届け出なければならない。

(授業科目の特例)

第8条 学生は、教員の免許状授与の所要資格等の取得を目的に、博士前期課程の学生にあつては学部の授業科目並びに博士後期課程の学生にあつては学部及び博士前期課程の授業科目(以下「特例科目」という。)の履修を願い出た場合は、主指導教員及び特例科目担当教員の許可を得て、履修することができる。この場合において、修得した単位は、修了に必要な単位数に算入しない。

2 前項の規定により特例科目を履修する場合は、当該特例科目を開設している学部又は研究科の長に、所定の様式により届け出なければならない。

- 3 本条の規定により学生が在学期間中に履修できる特例科目の単位数は、博士前期課程の学生にあつては30単位、博士後期課程の学生にあつては10単位を超えてはならない。
- 4 学生が、休学期間を除いて標準修業年限を超えている場合は、本条の規定による特例科目の履修は認めない。
- 5 前2項の規定は、やむを得ない事由があると研究科長が認める場合は、この限りでない。

(単位の認定)

第9条 履修した授業科目の単位修得の認定は、学期末若しくは学年末に行う試験又は研究報告によるものとする。

- 2 病気その他やむを得ない事由により、前項の認定を受けることができなかつた学生には、願い出により追試験を行うことがある。
- 3 成績の評価、評価点及び評価基準は、次のとおりとする。

成績評価	評価点	評価基準	
合格	A+	100～90点	到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている。
	A	89～80点	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
	B	79～70点	到達目標を達成し、良好な成績を修めている。
	C	69～60点	到達目標を達成している。
不合格	F	59～0点	到達目標に達していない。

(注)評価点は、100点を満点とした点数である。

- 4 第1項により合格とされたものには、所定の単位を与える。
- 5 既に修得した単位の取消し及び成績の更新はできない。
- 6 不合格となった授業科目については、願い出により再試験を行うことがある。
- 7 第4項の規定にかかわらず、学則第38条の規定に基づき準用する東京海洋大学学則第54条第3号又は第4号の規定に基づき除籍となった学生に対しては、入学料納付期日の属する学期又は授業料未納学期において、合格した授業科目を0点とし、単位を与えない。

(学位論文の提出等)

第10条 学生は、別に定めるとおり、学位論文の題目及び研究内容について主指導教員の承認を受け、指定された期日までに学位論文の題目を研究科長に届け出なければならない。

- 2 学位論文は、指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

(博士後期課程への進学)

第11条 博士前期課程に在学する学生の博士後期課程への進学手続その他必要な事項については、別に定める。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか、研究科における履修について必要な事項は、教授会が定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 16 年 10 月 1 日から施行し、平成 16 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則別表第 1 及び別表第 2 の授業科目は、平成 15 年度東京海洋大学大学院入学者にあつては、当該学生に適用される東京海洋大学大学院履修規則別表第 1 及び別表第 2 の授業科目に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第 1 の授業科目中、「沿岸域環境論」については、平成 15～16 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第 1 の授業科目中、「沿岸生産環境学」、「海洋生産環境工学」については、平成 16 年 10 月～17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第 2 の授業科目中、「海洋環境機械学特論」、「海洋生産環境学特論」については、平成 15 年 10 月～17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 2 に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第 1 の授業科目中、「海産哺乳類学」、「応用倫理学」、「科学技術社会論」、「航法電子工学」、「交通管制工学」については、平成 16 年 10 月～17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第 1 の授業科目中、「食品流通安全管理特別講義Ⅰ～Ⅳ」については、平成 17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。
- 4 改正後の履修規則別表第 2 の授業科目中、「鯨類生態学特論」、「海上電波通信・監視工学」、「交通安全工学特論」については、平成 15 年 10 月～17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 2 に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 20 日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第 1 の授業科目中、「魚類生殖生理学Ⅰ」、「魚類生殖生理学Ⅱ」については、平成 16 年 10 月～17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第 1 の授業科目中、「海洋観測演習」、「沿岸観測実習」については、平成 17 年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第 1 に開講しているものとして取り扱う。

### 附 則

- 1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第2の授業科目中、「機械設計工学」、「機械設計工学実験」については、平成16年10月～18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「比較・国際海洋教育論」については、平成17年10月～18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「魚類行動生態学」、「水中工学」、「水中工学実験」、「保健・医療と海洋」、「国際海上安全管理学」、「国際海上安全管理学実験」、「航海性能論」、「航海性能論実験」、「衛星航法工学」、「情報通信工学」、「衛星航法工学特別演習」、「衛星航法工学特別研究」については、平成17年10月から平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第2の授業科目中、「海洋知能ロボット工学」、「海洋知能ロボット工学実験」、「海上安全工学特論」、「海上安全システム実験」、「浮体操縦運動論」、「浮体操縦運動論実験」、「衛星航法工学特論」、「衛星航法工学合同セミナー」、「衛星航法工学総合特別研究」については、平成16年10月から平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「海上法規論」については、平成17年10月から平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第1の授業科目に開講しているものとして取り扱う。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「深海生物学Ⅰ」、「深海生物学Ⅱ」については、平成17年10月から平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第2の授業科目中、「深海生物学特論」については、平成16年10月から平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成19年10月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「環境技術マネジメント」については、平成18年度入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第2の授業科目中、「遠洋航海観測特別実習」、「海洋科学技術特別演習」については、平成17年度以降の入学者にあっては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

## 附 則

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「海洋生命科学基礎論Ⅰ」、「海洋生命科学基礎論Ⅱ」、「食機能保全科学基礎論Ⅰ」、「食機能保全科学基礎論Ⅱ」、「科学文学論」、「科学文明論」、「環境文化思想論」、「国際言語技術論」については、平成18年10月から平成19年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。
- 3 改正後の履修規則別表第2の授業科目中、「応用生命科学インターンシップⅠ」、「応用生命科学インターンシップⅡ」、「魚類生態学特論」、「沿岸域環境管理特論」については、平成17年10月から平成19年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

## 附 則

- 1 この規則は、平成20年10月1日から施行する。
- 2 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「言語情報処理論」については、平成19年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。

## 附 則

この規則は、平成20年10月1日から施行し、改正後の第6条の規定は、平成20年4月1日から適用する。

## 附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者については、次項及び第4項並びに改正後の第5条第3項及び別表第5に定めるものを除き、なお従前の例による。
- 3 改正後の東京海洋大学大学院履修規則（以下「履修規則」という。）別表第1の授業科目中、「地球気候変動論」、「海洋考古学」、「多文化社会論」、「自然言語と計算機インターフェース」、「海上保険法」、「損害保険法と民事責任」及び「操船システム工学」については、平成19年10月から平成20年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第1に開講しているものとして取り扱う。
- 4 改正後の履修規則別表第2の授業科目中、「沿岸域利用政策論特論」、「コミュニケーション関係論特論」及び「科学論特論」については、平成18年10月から平成20年度入学者にあつては、当該学生に適用される履修規則別表第2に開講しているものとして取り扱う。

## 附 則

この規則は、平成21年10月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、平成22年10月1日から施行する。

## 附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する学生は、改正後の第8条第1項及び第2項並びに第9条の規定を除き、なお従前の例による。
- 3 平成23年3月31日に在学する食品流通安全管理専攻の学生には、改正後の別表第1の食品流通安全管理専攻の表及び別表第5は適用せず、なお従前の例による。

## 附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日に在学する学生にあっては、別表第1の食機能保全科学専攻の表に「予防食品薬理学」を追加する改正、別表第2の応用環境システム学専攻の表に「運航支援システム特論」及び「運航支援システム特論演習」を追加する改正を除き、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成24年7月9日から施行する。ただし、別表第1の海洋システム工学専攻の表に「材料強度学」を追加する改正は、平成24年10月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前に認定された他大学院の単位にあっては、改正前の第5条及び別表第3から別表第6までの規定により修了に必要な単位数に算入されたものとみなす。ただし、平成24年3月31日に在学する学生にあっては、改正後の第5条中「海洋管理政策学専攻にあっては7単位」とあるのは「海洋管理政策学専攻にあっては6単位」と、別表第4の選択の項必要単位数の欄中「7」とあるのは「6」と、それぞれ読み替えるものとする。

#### 附 則（平成25年海洋大規第14号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成25年海洋大規第46号）

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

#### 附 則（平成25年海洋大規第58号）

この規則は、平成25年10月24日から施行し、平成25年10月1日から適用する。

#### 附 則（平成26年海洋大規第4号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日に在学する学生にあっては、別表第1の海運ロジスティクス専攻の表に「海上輸送システム法学」、「海上輸送システム法学演習」、「安全運航管理論」及び「情報数理」を追加する改正、並びに別表第2の応用環境システム学専攻の表に「海上輸送システム法学特論」、「応用解析特論」及び「数理科学特論」を追加する改正を除き、なお従前の例による。

#### 附 則（平成27年海洋大規第47号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成27年海洋大規第98号）

この規則は、平成27年10月1日から施行する。

#### 附 則（平成30年海洋大規第78号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成30年海洋大規第79号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日に在学する学生にあっては、なお従前の例による。

#### 附 則（平成30年海洋大規第80号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成30年海洋大規第81号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年3月31日に在学する学生にあっては、なお従前の例による。

#### 附 則（平成30年海洋大規第82号）

この規則のうち、別表第1海運ロジスティクス専攻の項に「海事教育工学」「海事教育工学演習」を新設する改正は平成30年10月1日から、別表第2応用環境システム学専攻の項中「流通経済特論」を廃止し「産業組織特論」を新設する改正は平成31年4月1日から施行する。



ただし、別表第2の改正については、平成31年3月31日に在学する学生にあつては、なお従前の例による。

**附 則**（平成31年海洋大規第65号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成31年3月31日に在学する学生にあつては、なお従前の例による。

**附 則**（平成31年海洋大規第96号）

この規則は、平成31年4月25日から施行し、平成29年度入学者から適用する。

**附 則**（令和2年海洋大規第48号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、令和2年3月31日に在学する学生にあつては、なお従前の例による。

**附 則**（令和3年海洋大規第68号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**（令和3年海洋大規第71号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和3年3月31日に在学する学生にあつては、なお従前の例による。

**附 則**（令和3年海洋大規第155号）

この規則は、令和3年12月16日から施行する。

**附 則**（令和4年海洋大規第3号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和4年3月31日に在学する学生にあつては、なお従前の例による。

## 別表第 1

## 海洋生命資源科学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
水圏生物科学	水族発生工学	2
	水族感染症学	2
	水族分子遺伝学	2
	魚類栄養学	2
	水族飼料学	2
	水圏養殖学	2
	応用藻類機能学	2
	応用藻類特性学	2
	魚類生殖生理学Ⅰ	2
	魚類生殖生理学Ⅱ	2
	水圏生物科学特別演習	4
	水圏生物科学特別研究	8
	生物資源学	保全生態学
集団維持学		2
増殖生態学		2
資源保全学		2
魚群制御学		2
漁業解析学		2
生産システム工学		2
資源動態・管理学		2
資源変動学		2
資源評価学		2
初期生態学		2
比較生態学		2
深海生物学Ⅰ		2
深海生物学Ⅱ		2
乗船漁業調査特別実習		1
生物資源学特別演習		4
生物資源学特別研究		8
海洋生物工学	遺伝生化学	2
	魚介類ゲノム科学	2
	水産生物細胞機能学	2
	水産生物分子機能学	2
	毒性病理学	2
	分子環境毒性学	2
	水族病態生理学	2
	微生物工学	2
	微生物化学	2
	海洋生物工学特別演習	4
	海洋生物工学特別研究	8
専攻分野共通	海洋生命科学基礎論Ⅰ	2
	海洋生命科学基礎論Ⅱ	2

食機能保全科学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
食品保全機能学	食品物性学	2
	高分子溶液論	2
	食品栄養機能学	2
	食品微生物学	2
	食品危害微生物制御学	2
	食品保全機能化学	2
	食品有害因子論	2
	食品危害物質化学	2
	生物資源化学	2
	生体物質解析学	2
	予防食品薬理学	2
	食品保全機能学特別演習	4
	食品保全機能学特別研究	8
	食品品質設計学	食品熱物質移動論
食品熱工学		2
食品プロセス工学		2
食品システム分析学		2
食品低温物性科学		2
食品冷凍工学		2
食品加工技術論		2
食品加工原料論		2
食品品質設計学特別演習		4
食品品質設計学特別研究		8
サラダサイエンス	サラダサイエンス論Ⅰ	2
	サラダサイエンス論Ⅱ	2
	サラダサイエンス特別演習	4
	サラダサイエンス特別研究	8
専攻分野共通	食機能保全科学基礎論Ⅰ	2
	食機能保全科学基礎論Ⅱ	2

海洋資源環境学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
海洋環境科学	海洋無機化学	2
	海洋環境保全学	2
	生元素循環論	2
	化学海洋システム論	2
	海底生物地球化学	2
	海底物質科学	2
	海洋力学	2
	沿岸海洋物理学	2
	海洋混合学	2
	環境情報解析学	2
	地球気候変動論	2
	環境測定学	2
	海洋リモートセンシング	2
	環境数理解析学	2
	海洋数理解析学	2
	流体数理解析学	2
	沿岸観測実習	1
	海洋観測演習	1
	外洋観測実習	1
	魚類生理生態学	2
	魚類系統分類学	2
	藻類系統学	2
	藻類形態分類学	2

	生物環境学	2
	環境生態学	2
	無脊椎動物生理生態学	2
	無脊椎動物系統分類学	2
	浮遊生物生態学	2
	浮遊生物機能論	2
	海産哺乳類学	2
	魚類行動生態学	2
	鯨類生物学	2
	海洋生物資源生態論	2
	生命化学	2
	有機構造解析	2
	分子生物化学	2
	環境微生物学	2
	生物機能応用学	2
	海洋環境科学特別演習	4
	海洋環境科学特別研究	8
海洋資源エネルギー学	環境機能材料化学	2
	海洋底地球科学	2
	応用海洋数理工学	2
	海上気象情報解析	2
	海岸過程論	2
	沿岸環境学	2
	海洋環境機械学	2
	海洋音響計測学	2
	応用情報工学	2
	移動体情報工学	2
	海洋構造物工学	2
	海底地盤・地質工学	2
	エネルギーデバイス工学	2
	先端エネルギー工学	2
	沿岸生産環境学	2
	海洋生産環境工学	2
	海洋化学センシング技術	2
	国際海洋管理学	2
	海底探査概論	2
	海底環境解析	2
海洋資源エネルギー学特別演習	4	
海洋資源エネルギー学特別研究	8	

海洋管理政策学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
海洋政策学	海洋利用制度論	2
	国際海洋管理制度論	2
	国際協力論	1
	水圏社会論	1
	海洋環境政策論	1
	海洋リテラシー論	1
	臨海地域開発論	2
	沿岸域利用政策論	2
	アジア海洋政策論	2
	海洋経済政策論	2
	海洋経済史	2
	海洋政策学特別演習	4
	海洋政策学特別研究	8
	海洋政策概論	2
	海洋利用管理概論	2

	国際海洋管理政策論	2
	海洋管理政策実務実習	1
	海洋ESD実習	1
	乗船漁業調査特別実習	1
海洋利用管理学	資源変動システム論	2
	生態系管理学	2
	生物資源管理学	2
	生物資源解析学	2
	海底資源論	2
	沿岸域保全論	2
	沿岸防災保全論	2
	海洋利用管理学特別演習	4
	海洋利用管理学特別研究	8
	海洋政策概論	2
	海洋利用管理概論	2
	国際海洋管理政策論	2
	海洋管理政策実務実習	1
	海洋ESD実習	1
	乗船漁業調査特別実習	1
海洋環境文化学	海洋健康科学	2
	海洋スポーツ科学	2
	環境教育論	2
	海洋環境文学論	2
	多文化社会論	2
	科学文学論	2
	科学文明論	2
	応用倫理学	4
	科学技術社会論	8
	環境文化思想論	2
	国際言語技術論	2
	海洋環境文化学特別演習	4
	海洋環境文化学特別研究	8
	海洋政策概論	2
	海洋利用管理概論	2
	国際海洋管理政策論	2
	海洋管理政策実務実習	1
	海洋ESD実習	1
乗船漁業調査特別実習	1	

#### 海洋システム工学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
動力システム工学	蒸気動力工学	2
	蒸気動力システム工学	2
	蒸気動力実験	2
	内燃機関環境工学	2
	内燃機関システム工学	2
	内燃機関実験	2
	空気調和・冷凍工学	2
	環境設備工学	2
	空気調和・冷凍工学実験	2
	電力変換工学	2
	電気動力実験	2
	動力エネルギー工学	2
	動力システム工学特別演習	4
	動力システム工学特別研究	8

海洋機械工学	トライボロジー学	2
	機械応用力学	2
	機械応用力学実験	2
	機械材料学	2
	機械材料実験	2
	エネルギー変換工学	2
	エネルギーシステム工学	2
	エネルギー変換実験	2
	機械システム設計学	2
	機械要素設計学	2
	機械設計実験	2
	物理シミュレーション学	2
	物理工学実験	2
	船用機器学	2
	材料強度学	2
	海洋機械工学特別演習	4
	海洋機械工学特別研究	8
海洋サイバネティクス	ロボットシステム制御論	2
	ロボットシステム設計論	2
	ロボット工学実験	2
	制御システム設計論	2
	数理工学	2
	オートマティクス実験	2
	電子制御システム論	2
	電子制御実験	2
	情報制御工学	2
	計測物質科学	2
	分析科学	2
	物質科学実験	2
	機能デバイス工学	2
	機能デバイス工学実験	2
	大気環境計測学	2
	大気環境物理学	2
	大気環境計測学実験	2
海洋サイバネティクス特別演習	4	
海洋サイバネティクス特別研究	8	
海洋探査・利用工学	水中探査機器工学	2
	水中探査機器工学実験	2
	水中音響工学	2
	水中音響工学実験	2
	浮体利用工学	2
	浮体利用工学実験	2
	海洋探査・利用工学特別演習	4
	海洋探査・利用工学特別研究	8

海運ロジスティクス専攻

専攻分野	授業科目	単位数
情報システム工学	知識情報システム設計論	2
	知識情報設計演習	2
	水中工学	2
	水中工学実験	2
	電波情報システム	2
	航行システム演習	2
	航路計画論	2
	航路計画演習	2
	航海情報論	2
	航海情報論演習	2
	保健・医療と海洋	2
	情報システム取引と民事責任	2
	情報システム取引と民事責任演習	2
	言語情報処理論	2
	自然言語と計算機インターフェース	2
	海事教育工学	2
	海事教育工学演習	2
	海上保険法	2
	損害保険法と民事責任	2
	運航支援システム論	2
	運航支援システム演習	2
	画像情報解析論	2
	画像情報解析演習	2
	海上輸送システム法学	2
	海上輸送システム法学演習	2
	情報システム工学特別演習	4
情報システム工学特別研究	8	
環境システム工学	環境解析論	2
	環境予測論	2
	環境科学演習	2
	機能安全工学	2
	高信頼性制御システム工学	2
	システム安全工学実験	2
	海洋人類学	2
	海洋人類学演習	2
	海洋考古学	2
	環境システム工学特別演習	4
	環境システム工学特別研究	8
	海洋テクノロジー学	移動体通信システム
衛星航法工学		2
海運と海洋特別セミナー		2
船体運動解析学		2
船型学		2
国際海上安全管理学		2
浮体運動学		2
運航システム設計工学		2
操船システム工学		2
航海性能論		2
海事英語論		2
安全運航管理論		2
安全運航管理論演習		2

	海洋テクノロジー学実験	2
	海難サバイバル論	2
	海洋テクノロジー学特別演習	4
	海洋テクノロジー学特別研究	8
海上安全テクノロジー	海上輸送システム論	2
	海上輸送システム演習	2
	安全推進システム工学	2
	安全推進システム工学演習	2
	海上交通システム論	2
	海上交通システム演習	2
	航法電子工学	2
	交通管制工学	2
	海上安全テクノロジー特別演習	4
	海上安全テクノロジー特別研究	8
	流通システム工学	国際輸送セキュリティ工学
物流貨物管理工学実験		2
サプライ・チェーン最適化工学		2
流通経営工学演習		2
ロジスティクス工学		2
ロジスティクス工学演習		2
交通計画論		2
地域計画学演習		2
流通設計論		2
流通情報システム		2
流通情報システム実験		2
数理学		2
視覚情報処理論		2
視覚情報処理実験		2
応用解析		2
国際教育開発論		2
空間情報工学		2
情報数理		2
離散数理		2
流通システム工学特別演習		4
流通システム工学特別研究		8
流通経営学	社会事情論	2
	交通政策論	2
	交通政策演習	2
	国際交通論	2
	交通経済論演習	2
	流通経済学	2
	産業構造論	2
	流通経済学演習	2
	産業組織論	2
	産業組織論演習	2
	流通経営学特別演習	4
	流通経営学特別研究	8



食品流通安全管理専攻

専攻分野	授業科目	単位数
食品流通安全管理学	<u>講義科目</u>	
	食品流通安全管理システム概論	1
	食の安全安心と消費者	1
	HACCPシステムⅠ	1
	HACCPシステムⅡ	1
	食品衛生化学	1
	食品微生物要論	1
	農畜産物品質安全管理論	1
	水産物品質安全管理論	1
	食品製造での品質管理の実際	1
	ロジスティクス総論	1
	食品流通論	1
	食品ロジスティクスの実際	1
	食品トレーサビリティ論	1
	食料国際流通論	1
	財務会計	1
	企業法務	1
	リスク管理論	1
	リスク分析論	1
	食品安全行政と食品関連法規	1
	食品情報論	1
	コミュニケーション論	1
	自己開発プラン	1
	疫学	1
	情報技術論	1
	統計的意思決定論	1
	<u>演習・調査科目</u>	
	食品流通安全管理ケース演習Ⅰ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅱ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅲ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅳ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅴ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅵ	1
	食品流通安全管理ケース演習Ⅶ	1
	HACCPシステム演習	1
	食品危害モニタリング法演習	1
	食品生産・製造地調査	1
	<u>プロジェクト研究</u>	
	食品流通安全管理システム研究	4
	次世代モデル研究	4
	食品流通安全管理インターンシップ	2
	<u>資格認定科目</u>	
	食品安全マネジメントシステム論	4

研究科共通科目

専攻	授業科目	単位数
博士前期課程全専攻	海洋科学技術特別セミナー I	1
	海洋AIワークショップ I	1
	Academic English	2
	Extreme Environments Studies	2
	環境保全技術ケース演習	2
	環境・エネルギー実務実習	1
	高度専門キャリア形成論 I	1
	国際海洋科学技術サマープログラム	2
	人工知能と機械学習	2
	深層学習	2
	機械学習演習	1
	データサイエンス概論	2
	データ工学	2
	データサイエンス演習	1

## 別表第2

## 応用生命科学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
応用生物科学	水族生理学特論	2
	水族病理学特論	2
	水族栄養学特論	2
	水族養殖学特論	2
	応用藻類学特論	2
	魚類生理機能学特論	2
	集団生物学特論	2
	保全増殖学特論	2
	資源解析学特論	2
	魚群制御学特論	2
	生産システム学特論	2
	応用資源動態学特論	2
	水産資源生態学特論	2
	深海生物学特論	2
	応用生命科学インターンシップⅠ	1
	応用生命科学インターンシップⅡ	1
	応用生物科学合同セミナー	2
	応用生物科学特別研究	4
	食品機能利用学	食品物理化学特論
食品機能化学特論		2
食品微生物学特論		2
食品保全化学特論		2
食品衛生化学特論		2
生体物質化学特論		2
食品熱操作工学特論		2
品質設計工学特論		2
食品冷凍学特論		2
品質設計化学特論		2
応用生命科学インターンシップⅠ		1
応用生命科学インターンシップⅡ		1
食品機能利用学合同セミナー		2
食品機能利用学特別研究		4
応用生物工学		ゲノム科学特論
	水産生物機能学特論	2
	先端魚類防疫学特論	2
	応用微生物学特論	2
	食品流通安全管理特論	2
	応用生命科学インターンシップⅠ	1
	応用生命科学インターンシップⅡ	1
	応用生物工学合同セミナー	2
	応用生物工学特別研究	4

応用環境システム学専攻

専攻分野	授業科目	単位数	
海洋環境学	魚類学特論	2	
	藻類学特論	2	
	海洋生態学特論	2	
	無脊椎動物学特論	2	
	浮遊生物学特論	2	
	資源生態学特論	2	
	鯨類生態学特論	2	
	物質循環論特論	2	
	水圏生態化学特論	2	
	水圏材料化学特論	2	
	海洋生化学特論	2	
	生体機能利用学特論	2	
	魚類生態学特論	2	
	海底有機物進化論	2	
	海洋化学センサ計測技術	2	
	海底熱水システム特論	2	
	地球環境微生物特論	2	
	海洋科学技術特別演習	1	
	元素動態特論	2	
	化学海洋学特論	2	
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1	
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1	
	海洋環境学合同セミナー	2	
	海洋環境学特別研究	4	
	環境保全システム学	海洋物理学特論	2
		資源環境学特論	2
海洋情報解析学特論		2	
環境測定学特論		2	
環境数理科学特論		2	
沿岸環境学特論		2	
海洋計測工学特論		2	
海洋環境機械学特論		2	
応用情報システム工学特論		2	
応用海洋数理工学特論		2	
海洋環境工学		2	
海洋統計工学		2	
海洋環境工学演習		2	
リスク管理工学		2	
制御システム設計工学		2	
システム安全工学演習		2	
海洋文化化学特論		2	
海洋文化化学演習		2	
反射地震学特論		2	
海洋底地球科学特論		2	
衛星気象学		2	
沿岸環境エネルギー特論		2	
海洋地盤工学特論		2	
電子デバイス工学		2	
海洋生産環境学特論		2	
遠洋航海観測特別実習		1	
応用環境システム学インターンシップⅠ		1	
応用環境システム学インターンシップⅡ		1	
環境保全システム学合同セミナー		2	
環境保全システム学特別研究		4	

海洋利用システム学	知識情報システム工学	2
	知識情報システム演習	2
	海洋知能ロボット工学	2
	海洋知能ロボット工学実験	2
	海洋計測特論	2
	海洋計測実験	2
	航路設計工学	2
	航路設計工学演習	2
	衛星測位システム	2
	衛星測位システム実験	2
	衛星航法工学特論	2
	移動体最適制御	2
	移動体最適制御実験	2
	海洋施設工学特論	2
	海洋施設工学演習	2
	海上安全工学特論	2
	海上安全システム実験	2
	人間機械系工学	2
	船舶耐航性能特論	2
	耐航耐波システム実験	2
	海洋利用リスク保険法学	2
	自然言語処理特論	2
	運航支援システム特論	2
	運航支援システム特論演習	2
	海事教育工学特論	2
	安全運航管理特論	2
	安全運航管理特論演習	2
	海上輸送システム法学特論	2
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1
海洋利用システム学合同セミナー	2	
海洋利用システム学特別研究	4	

応用環境システム学専攻

専攻分野	授業科目	単位数	
海上安全テクノロジー	海上輸送システム設計特論	2	
	海上輸送システム設計演習	2	
	安全推進システム設計工学特論	2	
	安全推進システム設計工学演習	2	
	海上交通システム設計特論	2	
	海上交通システム設計演習	2	
	海上電波通信・監視工学	2	
	交通安全工学特論	2	
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1	
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1	
	海上安全テクノロジー合同セミナー	2	
	海上安全テクノロジー総合特別研究	4	
		ロジスティクスシステム工学特論	2
		社会基盤整備工学特論	2
交通システム計画工学特論		2	
サプライ・チェーン最適化工学特論		2	
交通ロジスティクス工学演習		2	
物流情報システム工学特論		2	
物流設計工学特論		2	
複合輸送システム工学特論		2	
知覚情報処理特論		2	

ロジスティクス	輸送情報システム実験	2
	産業組織特論	2
	産業構造特論	2
	国際交通産業特論	2
	流通経済総合演習	2
	交通政策特論	2
	応用解析特論	2
	数理学特論	2
	流通アルゴリズム工学特論	2
	空間情報工学特論	2
	空間情報工学演習	2
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1
	ロジスティクス合同セミナー	2
	ロジスティクス特別研究	4
	海洋機械システム学	ロボット制御工学
ロボット制御工学実験		2
海洋システム制御工学		2
海洋システム制御実験		2
数理システム設計工学		2
数理システム設計演習		2
通信制御工学		2
通信制御工学実験		2
機能材料工学		2
機能材料工学実験		2
ターボ動力工学		2
ターボ動力工学実験		2
熱機関工学		2
熱機関工学実験		2
船用推進工学		2
船用推進工学実験		2
熱環境工学		2
熱環境工学実験		2
環境エネルギー工学特論		2
環境エネルギー工学実験		2
パワーエレクトロニクス		2
パワーエレクトロニクス実験		2
材料表面工学		2
材料表面工学実験		2
材料環境工学		2
材料環境工学実験		2
熱移動現象学		2
熱移動現象学実験		2
超伝導工学		2
超伝導工学実験		2
熱エネルギー機器工学		2
熱エネルギー機器工学実験		2
数値流体力学		2
数値流体力学演習		2
光計測工学		2
光計測工学実験		2
機械設計工学		2
機械設計工学実験		2
応用環境システム学インターンシップⅠ		1
応用環境システム学インターンシップⅡ		1
海洋機械システム学合同セミナー		2
海洋機械システム学特別研究	4	

応用環境システム学専攻

専攻分野	授業科目	単位数
産業政策文化学	地域産業発展論特論	2
	沿岸域環境管理特論	2
	沿岸域利用政策論特論	2
	海洋産業経済学特論	2
	国際漁業管理特論	2
	身体適応学特論	2
	水圏環境教育学特論	2
	環境文学論批評特論	2
	海洋社会言語学特論	2
	海洋産業経営学特論	2
	環境経済政策論特論	2
	コミュニケーション関係論特論	2
	食品リスクコミュニケーション特論	2
	科学論特論	2
	海洋経済史特論	2
	海洋資源制度特論	2
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1
	産業政策文化学合同セミナー	2
	産業政策文化学特別研究	4
海洋探査・利用工学	水中探査システム工学特論	2
	水中探査システム工学実験	2
	水中音響システム工学特論	2
	水中音響システム工学実験	2
	浮体利用システム工学特論	2
	浮体利用システム工学実験	2
	応用環境システム学インターンシップⅠ	1
	応用環境システム学インターンシップⅡ	1
	海洋探査・利用工学合同セミナー	2
	海洋探査・利用工学総合特別研究	4

研究科共通科目

専攻	授業科目	単位数
博士後期課程全専攻	海洋科学技術特別セミナーⅡ	1
	海洋AIワークショップⅡ	1
	高度専門キャリア形成論Ⅱ	1
	データサイエンス社会実装論	2
	人工知能・機械学習特論	2
	安全運航評価論	2
	社会実装評価演習	2
	レジデントシップ	2

別表第3 (食品流通安全管理専攻を除く博士前期課程)

必修・選択の別	授業科目の区分	必要単位数
必修	所属専攻分野の講義または演習・実験・実習	4
	所属専攻分野の特別演習	4
	所属専攻分野の特別研究	8
選択	所属専攻の講義または演習・実験・実習 (ただし, 10単位まで他専攻, 研究科共通科目及び他大学院の単位を含むことができる)	14
	合計	30

別表第4 (食品流通安全管理専攻)

必修・選択の別	授業科目の区分	必要単位数
必修	講義科目	
	自己開発プラン	1
	食品流通安全管理システム概論	1
	コミュニケーション論	1
	プロジェクト研究	8
選択	講義科目及び資格認定科目 (ただし, 10単位まで他専攻, 研究科共通科目及び他大学院の単位を含むことができる)	13
	演習・調査科目	6
	合計	30

別表第5 (博士後期課程)

必修・選択の別	授業科目の区分	必要単位数
必修	所属専攻分野の講義または演習・実験・実習 (ただし, 2単位まで他専攻分野, 他専攻, 研究科共通科目及び他大学院の単位を含むことができる)	4
	所属専攻分野の合同セミナー	2
	所属専攻分野の特別研究	4
合計		10